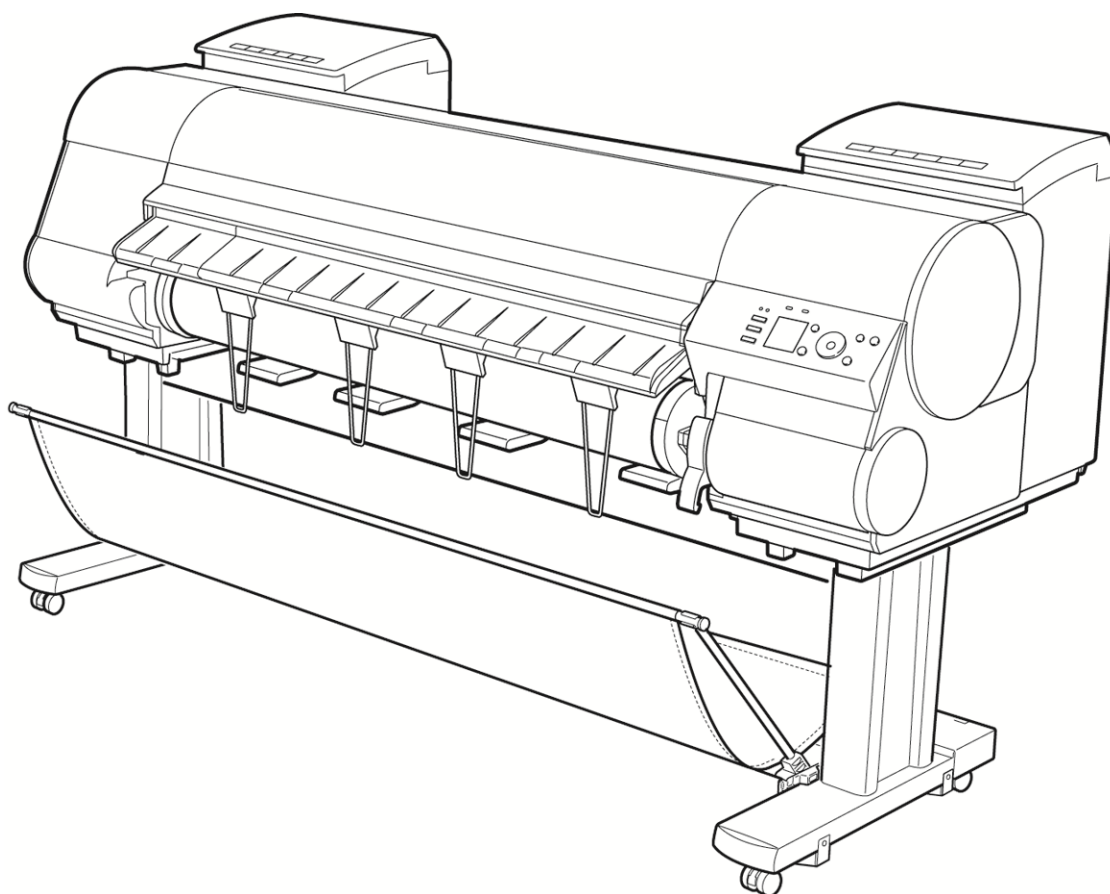




大判インクジェットプリンター (imagePROGRAF シリーズ) 不正アクセス防止対策について

重要 管理者の方は、必ずご一読ください。



平素よりキヤノン製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。本書は、大判インクジェットプリンター イメージプログラフ シリーズ(※以降、大判プリンター)における外部ネットワークからの不正アクセス防止対策について記載しています。大判プリンターをネットワーク環境でお使いの方、管理者の方は、ご利用前に必ずご一読いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

はじめに

近年の大判プリンターはネットワークに接続する事で、ネットワーク経由でのプリントのほか、HTTP プロトコルによるリモート UI でプリントジョブの管理やプリント履歴の閲覧など、さまざまな便利な機能が利用できるようになってきました。以降では、キヤノンの大判プリンターをネットワーク環境でお使いの際における、外部からの不正アクセス対策のポイントを紹介していきます。

本書で記載する設定手順や図は一例であり、お使いの大判プリンターとは異なる場合があります。詳しくは大判プリンター同梱の取扱説明書も併せてご参照ください。

外部からの不正アクセス対策のポイント

- 1.プライベート IP アドレスで運用する
- 2.ファイアウォールで通信を制限する
- 3.大判プリンターをパスワードで管理
- 4.その他

リモート UI 利用上での注意

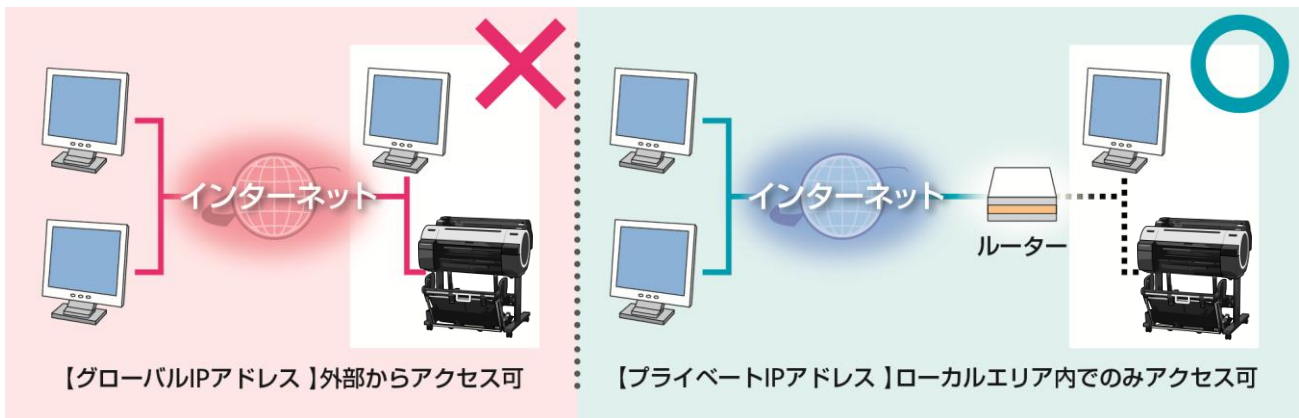
プライベート IP アドレスで運用する

IP アドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号のことで、インターネット接続に使われる IP アドレスを「グローバル IP アドレス」社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使われる IP アドレスを「プライベート IP アドレス」と呼びます。大判プリンターに設定されている IP アドレスがグローバル IP アドレスの場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏えいなどのリスクも高まります。一方で、プライベート IP アドレスが設定されている大判プリンターなら、社内 LAN などのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。

基本的には、大判プリンターの IP アドレスにはプライベート IP アドレスを設定して運用してください。プライベート IP アドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。お使いの大判プリンターに設定されている IP アドレスがプライベート IP アドレスかどうかを確認するようにしてください。

プライベート IP アドレスの範囲

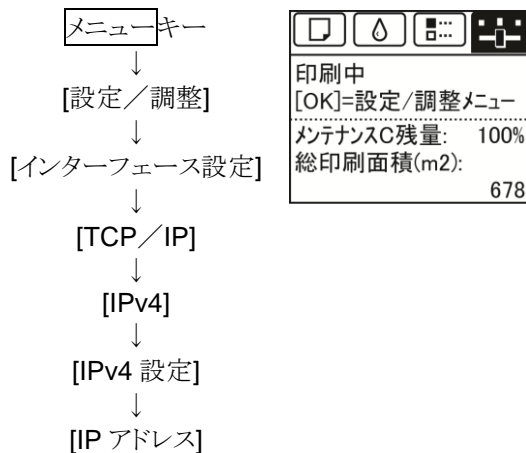
- 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255



MEMO

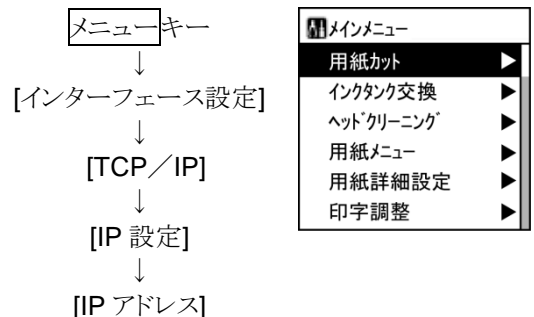
大判プリンターにグローバル IP アドレスが設定されていても、ファイアウォール等で外部からのアクセスを防御する環境を構築すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。大判プリンターにグローバル IP アドレスを設定して運用したいときは、社内のネットワーク管理者にご相談ください。

■ IP アドレスの確認



※IP アドレスの確認手順については、本体同梱の取扱説明書を参照してください。

■ 一部のモデル*1での IP アドレスの確認



※IP アドレスの確認手順については、本体同梱の取扱説明書を参照してください。

*1 iPF5100、iPF510 Plus、iPF610 Plus、iPF605L Plus、iPF815、iPF825 (iPF5100、iPF510 Plus はカタカナ表記となります)。

ファイアウォールで通信を制限する

ファイアウォールとは、外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、組織内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステムです。お使いのネットワーク環境で、特定の外部 IP アドレスからの通信を制限することで、危険と思われる外部からのアクセスをあらかじめ遮断できます。

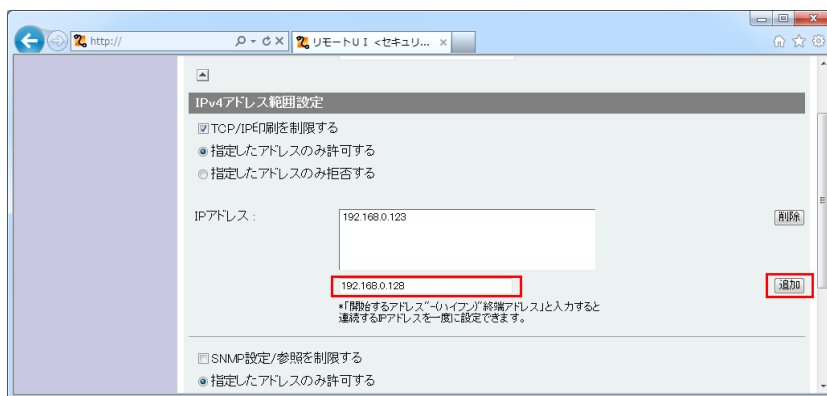
キヤノンの大判プリンターに搭載された IP アドレス範囲設定機能でも IP アドレスのフィルタリングができます。

■ imagePROGRAF シリーズでの IP アドレス範囲設定画面

※IP アドレス範囲設定機能は、リモート UI で設定できます。設定手順については、リモート UI ガイドを参照してください。

※リモート UI の操作手順は本体同梱のマニュアルをご参照ください。

リモート UI ガイド：<http://cweb.canon.jp/e-support/guide/pdf/guide-lfp-ru-i-g.pdf>



MEMO

リモート UI (User Interface) は、お手持ちの Web ブラウザーからネットワークを経由して大判プリンターにアクセスし、本体の状況の確認やジョブの操作、各種設定などができるソフトウェアです。本体の前に行かなくても、離れた場所からコンピューターで管理できます。Web ブラウザーで本体の IP アドレスまたはホスト名を指定すると、リモート UI のポータルページが表示されます。

※リモート UI の操作手順は大判プリンター同梱の取扱説明書、ホームページで公開している「リモート UI ガイド」を参照してください。

大判プリンターをパスワードで管理する

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けたとしても、大判プリンターが持つさまざまな情報をパスワードで保護しておけば、情報漏洩によるリスクを大幅に軽減できます。

※初期パスワードは設定されていません。必要に応じてパスワードを設定してください。

※パスワード設定手順については、本体同梱の取扱説明書を参照してください。

※保存ボックスのパスワード設定は、リモートUIで設定できます。(保存ボックスはハードディスク内蔵モデルのみ)

※ iPF5100 / iPF510 Plus / iPF610 Plus / iPF605L Plus は管理者パスワードをリモートUIで設定できます。本体操作パネルにはパスワード設定画面やパスワード入力画面は表示されません。

MEMO

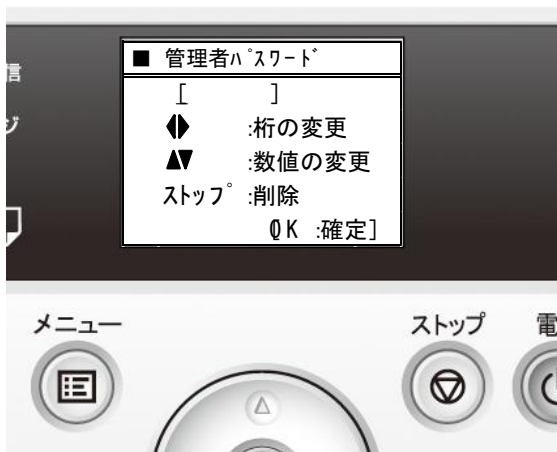
大判プリンターはパスワードによる保護機能を備えていますが、パスワードの管理を行うことがセキュリティ対策において重要です。以下のポイントを参考に、パスワードを管理してください。

- 初期パスワードを必ず設定する
- 定期的にパスワードを変更する
- 第三者が推測しやすいパスワードを設定しない
- 不用意に第三者に教えない

imagePROGRAF シリーズでの各種画面

本体操作パネル

システム管理項目のパスワード入力画面



リモートUI

リモートUI ログオン時のパスワード入力画面



本体操作パネル

保存ボックスアクセス時のパスワード入力画面



リモートUI

保存ボックスアクセス時のパスワード入力画面



■ リモート UI 利用上での注意

Web ブラウザーでプリンターのリモート UI を開いている時には、他の Web サイトにアクセスしないようにしてください。また、リモート UI で設定変更を行っているコンピューターから離席する場合や設定変更が終了した場合は、Web ブラウザーを必ず終了してください。

Canon